

両崖山・天狗山 山行報告

1. 目的 地 : 両崖山(りょうがいさん249m)、天狗山(てんぐやま259m) 栃木県足利市
2. 日 程 : 平成19年3月11日(日)
3. 天 候 : 雨のち晴れ 午後から強風
4. 参 加 者 : 4名
5. 参 加 費 : 1,400円(ガソリン代・運転手謝礼・事故保険)
6. コースタイム:
神社下P～織姫神社～西渓園～両崖山～天狗山(昼食)～かわら山展望台～鶴山～須永山～
9:35 11:20 12:00～12:40 13:25
観音山～常念寺～神社下P
13:50
7. レベル : 標高差 約250m、行動時間4時間10分 登山入門(A)
8. 山行状況 : 前日夜の時点で、足利地方の天気は「午前9時頃まで弱い雨、その後曇りで午後からは晴れ、雨が上がった後は強風が吹き荒れる」という予報だった。随分迷ったが「出発を1時間遅らせて決行することをメンバーに連絡した。
- 当日の朝、雨は間断なく降っている。TXみどりの駅で川さんをピックアップした後、全員で今後の行動を相談したら「もうここまで来たのだから行きましょう。雨が上がらなければ傘を差して梅園見学して、温泉に入って解散。」ということになった。いつも利用する道の駅「しもつま」で朝食中も雨脚は衰えない。ところが、あれほど執拗に降っていた雨が、車が登山口駐車場に着くのを見計らったように上がってくれた。
- 織姫神社にお参りした後、山頂広場横にある機神山(はたがみやま)古墳を見学した。芝に覆われた前方後円墳の墳丘には登れないが、盗掘で露出した石室を間近に見ることが出来る。両崖山に続く稜線はよく整備されたハイキングコースで、展望台や休憩舎が随所に設けられている。暖冬のせいか早咲きの花桃や桜の他、1株に数輪の花を開かせたヤマツツジが次々と目に止まる。西(左)側の斜面から谷底にかけて白く雪の様に梅園が見える。標識はないがコースを外れて梅園に降りると、雨に洗われて盛りを僅かに過ぎた梅の香りが心地よい。
- 両崖山山頂は山城の跡、自生の北限であるタブノキの大木が茂っている。先着の中年カップルに記念撮影のシャッター押しを頼んだら、クラブの旗を見て「つくばからですか。私達は時々大洋村の別荘に出掛けています。」と言われた。行動山へ続くハイキングコースから分かれて、天狗山への周回コースへ入った頃から日が差し始めた。天狗山直下は岩混じりの急登で太いロープが固定されている。山頂からは眼前の山の右に日光連山、左に赤城山が見える。南西方の関東平野の奥に連なる山脈が見えるが、山座同定は出来なかった。山頂の一角にテープルを囲むようにベンチが設けられており、ここで昼食。
- このあと越えていく小ピークは鶴山、須永山、観音山と標高を記入した山名標示板が取り付けてある。足元に足利、桐生の町並みや渡良瀬川の流れが箱庭のように見える。常念寺の境内を通り抜けて下に降り立つと、そこはもう車が通る一般道路。10分程度で車を停めた駐車場に戻り着いた。「大して汗もかかなかったし、お風呂は省略して早く帰ろう」ということになって、THC企画では珍しく明るい内に帰り着いた。

西渓園（個人所有の梅園）



両崖山山頂



早咲きのツツジ



雨上がりの両崖山



稜線から見下ろす梅園

